

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[6] メチルアミン	<p>【大気】</p> <pre> graph LR A[大気] --> B[捕集] B --> C[溶出] C --> D[誘導體化] D --> E[GC/MS-SIM-EI] F[内標準物質添加 メチルアミン-d₃ 200ng] --> D </pre> <p> 大気 → 捕集 (L(+)-アスコルビン酸及び塩化ナトリウムを含むさせたSep-Pak Silica Plus Light Cartridge, 120mg 100mL/分×24時間) → 溶出 (精製水 3mL) → 誘導體化 (28%アンモニア水 100µL、トルエン 1mL、塩化ベンゾイル 5µL 振とう 30分間、静置 5分間 トルエン層を分取) → GC/MS-SIM-EI </p> <p>内標準物質添加 メチルアミン-d_3 200ng</p> <p>「令和2年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【大気】 (ng/m³) [6] 79</p> <p>分析条件： 機器 GC：Agilent 6890N MS：Agilent 5973 又は GC：Agilent 6890B MS：JEOL JMS-Q1500GC 他 カラム J&W DB-17ms 60m×0.25mm、0.25µm</p>